

## 第5回 「自閉症にやさしい社会」研究会

日時 : 平成22年10月13日(水) 19時~21時  
場所 : 金沢大学 角間キャンパス 中央図書館 2F AV室  
報告 : 青野 透 先生 (金沢大学 大学教育開発・支援センター教授)  
参加費 : 無料

### ◆報告内容◆

#### 「自閉症に優しい大学①—授業を変える—」

青野 透 先生

発達障害かもしれない受講生がいることを前提に授業をする。大学の教員に、そのための授業設計、授業運営技術が求められる時代がやってこようとしている。大学入試センター試験でも、来年度から、医師の診断書などをもとに発達障害のある受験生に対して、試験時間の延長や別室での受験などの特例措置がとられることが決まった。

大学教育は、この十年ほどの間に、聴覚障害学生に対してのノートテイクによる授業情報保障が当たり前になるという劇的な変化を見せた。それでは、発達障害の学生、例えば、アスペルガー障害の学生がおり支援を申し出ている場合に、教員はどう授業を変えていかねばならないのだろうか。また、変えようとしてもできないのならば、それを阻んでいるのは何だろうか。カリキュラムを含め、大学の教育システムそのものの見直し、さらには大学教育の意義についてのより深い考察を求める問いである。

まずは、山本佳子(いわき明星大学)・仁平義明(白鷗大学)「アスペルガー障害学生の学業支援—教員・職員・相談担当者・学生間の支援許容度の違い—」『学生相談研究』31巻第1号(2010年7月)を手がかりに、発達障害学生のために授業を具体的にどのように変えるべきか、またその教室内の他の学生たちにどのような理解を求めるべきかについて、参加者と一緒に検討を試みたい。

なお、全ての大学、短期大学等に法的に義務づけられた「授業内容・方法の改善のための組織的な研修・研究」(FD)の喫緊のテーマであり、教員の課題でもあるが、同時に、学生自身にとっても重要な事柄である。学生たちの参加を特に強く望みたい。

### ◆今後の予定◆

11月10日(水) 19時~21時 @角間キャンパス中央図書館 2F AV室

12月8日(水) 19時~21時 @角間キャンパス中央図書館 2F AV室

\*\*\*\*\*

問い合わせ先 〒920-1192 金沢市角間町 人文学類 社会学研究室 担当: 竹内慶至

TEL: 076-264-5476 E-mail: [ntakeuti@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:ntakeuti@staff.kanazawa-u.ac.jp)

HP: <http://ristex-kanazawa.w3.kanazawa-u.ac.jp>